



社会福祉法人武蔵野会 きね川福祉作業所 広報誌

第32号 ゆいかもめ

発行日 2017. 12. 26

～自分を愛するようにあなたの隣人を愛せよ～

発行人: 東京都葛飾区東四つ木3-8-10

社会福祉法人武蔵野会 きね川福祉作業所 施設長 大和田 卓

電話 03(3694)1577 FAX 03(5698)1757

mail: kinegawa2939@coda.ocn.ne.jp http://www.yurikamome.info/



夏季期間行事 調理活動

こあいさつ

今年は、かりんとう饅頭の加工製造・販売を十月から開始しました。各関係機関の方々にはお世話になり感謝しております。おかげさまで区内のイベントでの販売を中心に販売しスムーズにスタートしました。今後は、常時の製造、販売体制を整えていきますのでどうぞよろしくお願いします。

さて、福祉事業の環境はめまぐるしく変化してきています。福祉施設は、国からの自立支援給付費や自治体からの補助金で運営しております。報酬改定等でこれが減収となればサービスの内容も変化せざるを得ないところです。社会保障費がふくれあがってきているのでどこかで痛み分けが必要になってくることは避けられないと思います。が、サービスの低下につながらない方向で決着がつく事を祈るばかりです。平成三十度の障害福祉サービス等報酬改定等の具体的な内容が現時点では確定しておらず、また近い将来の区の補助金の見直し内容も声を上げながら今後の動向に注視していきたいと思えます。

今年も様々なことがありました。多くの方にご支援いただき、心から感謝いたします。皆様方におかれましては、来年もご健勝で幸多き年でありますようお願いいたします。今後も今年と変わらないご支援、ご協力をお願い申し上げます。

施設長 大和田 卓



* きね川GENKIまつり *



かりんとう饅頭は大盛況でした！



9月30日、爽やかな秋晴れのなかGENKIまつりを開催しました。来客の皆様楽しんで頂ける様にと考え、アトラクションのゲスト4組にお越し頂きました。園庭では、昨年につき、近隣にお住まいの「バルーンアート霜田」さんにバルーンアートを披露して頂きました。目の前であっという間に出来上がるカラフルで見事なアートに来場者から歓声が上がっていました。「ギニアバンバン」さんのアフリカダンスの圧倒的なパフォーマンスに観客の皆さんも一緒にステージに上がり大変な盛り上がりでした。「アイリス」さんの動物ふれあい体験では、かわいい犬たちとのスキンシップで、皆さん癒されていらっしゃいました。「あつまれ 愉快な音楽なかまたち」さんは、当作業所10周年記念のイベントに来て頂き、素晴らしいステージを展開、利用者さんから「又、来て欲しい」との声が大変多く聞かれた為、再びお願いしました。「久しぶりです」と多くの利用者さんと再会の挨拶を交わされ、期待通りの素晴らしいショーでした。又、今年度本格的に着手した自主生産事業のかりんとう饅頭ですが、揚げ時間や油きりの方法等、製造には試行錯誤の連続でした。北海道産の小豆・沖縄産の黒糖を使用、国産米油100%で揚げています。検査を経て地域の皆さんに満を持してお披露目販売を行いました。当日の朝に製造の揚げたてを販売し、おかげさまで完売となりました。ありがとうございました。（稲留）



今年も楽しんで頂けた様子です♪



夏休み工作教室

地域の子どもたちを対象とした夏休みこども工作教室を8月19日に開催しました。きね川福祉作業所が地域資源の一つとして、どのように機能していけるのか、地域にとってお役にたてる事業を展開し、公益活動を通して地域の方に福祉施設として認識していただく取り組みとして、昨年度に引き続き第3回目を開催しました。

工作内容は竹またはアルミの円管を使った風鈴作り、木材と釘、ビー玉を使った手作りおもちゃ作りを2種類、紙を使った万華鏡作り、ろうそくを溶かして色付けし固めるキャンドル作りの6つから選んで頂きました。

当日は31人の親子が来所し、オリジナルの作品作りにチャレンジしました。普段触る機会の少ない竹や釘を使った作品作りにみなさんが楽しんで参加して頂き、休憩時間にはかき氷を召し上がっていただきました。参加者からは『夏休みの自由研究にして出します』『来年度も参加します』という声もありました。来年度もさらに充実した内容にして、より多くの子供たちに参加していただきたいです。（海老名）



夏季期間行事

8月16日、17日に夏季期間行事を行いました。仕事の活動は全て休み、利用者の皆さんには、ゆったりと過ごし、余暇活動を楽しんでいただきました。

2日間共に、所内でのゲームや映画鑑賞、地区センターでのカラオケを行いました。1日目は、アトラクションでスポーツクラブの村山講師とその知り合いの方々に来ていただきました。ダンスを皆の前で披露し、利用者の皆さんが知っている曲が多かったので、一緒に踊ったり、歌ったりし、とても楽しまれていらっしゃいました。利用者の皆さんからは、好評でした。その後、好きなシロップやトッピングをかけたかき氷、綿あめを召し上がっています。

2日目は、調理活動でホットケーキとヨーグルトシャーベットを行いました。ホットケーキを作るグループとヨーグルトシャーベットを作るグループに分かれて作っています。調理を希望された利用者さんに作っていただき、皆さんとても上手に作られていました。

普段とは違う日を過ごしていただき、皆さんの疲れも少しはとれたのではないのでしょうか。夏季期間行事を楽しんでいただけたようです。（手塚）



ゆいかもめ



自主生産 かりんととう饅頭



こんにちは！皆様、秋の行楽シーズンはいかがお過ごしでしたか？

きね川福祉作業所では「葛飾かりんと饅頭」の販売が開始し、地域のイベント（奥戸スポーツフェスティバル・ゴミ減量フェア・かつしかボランティアまつり等）やウェルピアでの出張販売に出店しました。お子様からご高齢の方まで幅広い年齢の方が購入して下さい、「おいしいからもう一つ！」と2度買って下さる方や「どこで売っているの？普段も買いに行きたいのだけど。」と尋ねて下さる方もおり、手ごたえを感じております。

お買い上げ頂いた方にカリッとした食感を味わっていただくために、職員は販売当日の早朝から製造しています。イベントや出張販売では毎回昼過ぎには完売しています。皆様の中にも、売り切れていて買えなかった方がいらしたかと思います。

少しずつ、生産数を増やしていきたいと思っておりますので、今しばらくお待ちください。

現在、利用者の皆さんが安全に製造作業に参加できる方法を検討しているところですが、まずは利用者の皆さんには「販売用の袋製作」という形で自主生産に関わって頂いています。1階フロアでは饅頭の袋に付けるリボンを切る作業、2階フロアでは紙袋にシールでリボンを貼りつける作業を行っています。平日の出張販売が定期的に行えるようになりましたら、少しずつ利用者の皆さんにも販売や製造に参加して頂きたいと思っております。

これからも少しずつ地域での「葛飾かりんと饅頭」の知名度を広めていきたいと思っておりますので、皆様の温かいご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。（大堀）



かりんと饅頭を入れる袋は
利用者さんが作成しています。



武蔵野会葛飾地区研修

葛飾区で運営する社会福祉法人武蔵野会の4施設、白鳥福祉館、西水元あやめ園、東堀切くすのき園ときね川福祉作業所が共同で様々な職員研修を年間計画に基づいて実施しています。さる9月8日には、「生きにくさを抱えた障害者の現状と支援の課題」をテーマとした地域の方も参加する形態の公開講座を開催しました。

講師は今年スタートした一般社団法人「生きにくさを抱えた障害者等の支援者ネットワーク」理事でもあります赤平守氏にお願いしました。貧困や差別・障害などの状況から生まれる絶望感や無力感などに置かれた状況が孤立を生み出し、生きにくさの連鎖につながっていくといいます。罪を犯した障害者の生活支援に、我々の福祉施設が関わっていく必要性を感じました。その人の過去や背景で否定することなく、その人と同じ方向から見て、共感し、相手を尊重できるかが課題だということでした。参加した職員は、普段の利用者支援を振り返ったり、社会から必要とされる福祉の仕事を考える機会となりました。（大和田）



みんなのページとは利用者さんが楽しく過ごすコーナーです。
みんなのページとは利用者さんが担当するコーナーです。

あたらしいしょくいん じちかいやくいん
新しい職員と自治会役員にインタビューをしました！

新しい職員の紹介



なかつがわ よしこ ひとみ
中津川 芳子さん(左)
いよぎ さちこ あり
五代儀 幸子さん(右)



かいとう いっしょうけんめい
回答を一生懸命メモし
ています！

みどうち
メモを見て打ちこん
でいます！



自治会メンバーの紹介

じちかいやくいんの3ぬいにいきこみをききました
自治会役員の3名に意気込みを聞きました！

しんどうせん「しかいをがんばりたい！」
進藤さん「司会を頑張りたい！」
くさません「たのしいせきようじょにしたい！」
草間さん「楽しい作業所にしたい！」
あべせん「はじめてなのでいろいろなことにチャ
レンジしたいです！」
阿部さん「初めてなので色々なことにチャ
レンジしたいです！」



ひだり しんどう ちくかいちやう くさま
左から進藤さん(副会長)、草間さん(会
かいちやう あべ ちくかいちやう
長)、阿部さん(副会長)です！



インタビューし
ています！



お知らせ

新車購入

『夢と誇りあるふるさと葛飾基金』制度を活用させて頂き、自主生産販売で使用する車両を購入しました。『夢と誇りあるふるさと葛飾基金』とは、葛飾区を応援していただける方々より頂いた寄附金を基金として積み立て、それを財源に寄附者の意向に配慮して「夢と誇りあるふるさと葛飾」を実現することを目的とした基金です。

かりんと饅頭の販売では、商品運搬や販売員の移動を主な用途として考え、それに伴い、荷室があり・小回りの利く軽自動車（N-BOX）を選定しました。10月より本格稼働しております。かりんと饅頭の販売に力が入ります。（臼田）

販売に伺いますので、
よろしくお願いします。



TV寄付

有限会社日下工業様からご寄付があり、大型液晶テレビの購入と設置をさせて頂きました。作業所のテレビの中には、いまだブラウン管型のテレビがあり、現役として使っている状況でした。新しい大型液晶テレビが設置され、その画面を見たときは、画像がとても美しく、ビックリしました。利用者の方々も大きなテレビを見て「大きくて見やすいね。」「色がきれいだね。」など大変喜ばれています。現在では、シネマクラブや余暇活動で活用させて頂いています。大切に使用させて頂きます。有り難うございました。（臼田）



今後の予定

1月17日 成人式・新年会

2月17日
葛飾地区実践事例報告会

3月30日 慰労会



せしえせこうほう
挿絵も広報
へんしゅういん
編集委員の
りょうしゅせんが
利用者さんが
かきました！
描きました！

編集後記

今年もあとわずかとなりました。今年1年は皆さんにとってどのような1年でしたでしょうか。私自身この1年を振り返ってみると、とにかくあっという間に駆け抜けた1年だったように感じます。来年は時折自分自身を振り返りながら、気持ちに余裕を持って過ごす事ができたらと思います。

後援会ご協力のお願い

社会福祉法人武蔵野会が経営する25施設の利用者のためによりよい環境や施設の充実・施設の円滑な運営などを物心両面から支える組織として、武蔵野会後援会があります。皆様のご理解とご協力により会の拡大をはかり、法人の運営基盤の確立を応援していますので、ご協力お願い申し上げます。皆様のご理解とご協力により会の拡大をはかり法人の運営基盤の確立を応援し

武蔵野会後援会事務局

〒193-0931 東京都八王子市台町1-19-3

☎ 042-626-9772



ボランティアを募集しています！

年間を通して作業のお手伝い（軽作業・公園清掃）や、クラブ活動の補助（スポーツ・音楽創作）、または行事（外出、旅行、お祭り等）のお手伝いをして頂けるボランティアを募集しています。

曜日や時間帯、活動内容等で希望がありましたら、お気軽にご相談下さい。



（担当：大堀、早川）